

交通安全部会

参加してよかった「高齢者交通安全教室」

6月18日(月)～21日(木)まで地区内7カ所で高齢者交通安全教室が開催され、60歳以上の皆さん219名を中心に合計306名が参加しました＝写真。

県交通安全支援センターの皆さんによる寸劇やビデオ鑑賞、若槻大通り交番の川越一男所長の交通安全講話、路上講習などがあり、それぞれの地区で笑いを交えて、楽しく学びました。

参加者からは、教室で初めて知ったことが多く、「勉強になった」との感想をいただきました。今後も開催していこう！との思いを新たにしました。



福祉部会

思いを短冊に託し七夕かざり



7月27日(金)、
若槻コミュニティセンターで
「お母さんの何でもトーク」を行い、
8組24名が参加しました＝写真。

「七夕かざり」の飾り付けがテーマ。「車と新幹線で遊べますように」「家族みんなが幸せに暮らせますように」とそれぞれ自分の夢と希望を短冊に託し、笹に飾りました。

「お母さんの何でもトーク」は、毎月第4金曜日に開く3歳未満児とお母さんを対象にしたおしゃべりの場です。

人権教育部会

五郎兵衛記念館へ現地研修

7月10日(火)、佐久市の五郎兵衛記念館で信州農村開発史研究所所長 斎藤洋一先生による「佐久地域の人権同和について」の講演をお聞きました。

斎藤先生は部落の歴史の中で人々がどのような差別を受けたかなど具体的に説明されました。記念館には、部落差別をなくすために約3万点の古文書が保管されています。

また、江戸時代初めに市川五郎兵衛が困難を乗り越えて築いた用水路についても詳しくお聞きました。現在では、佐久市だけでなく東御市の一部まで潤す大切な用水となっているそうです。